

福祉

中高生の進学  
チャレンジを後押し

福祉総合支援事業

生活困窮世帯の中・高校生等の学習意欲や学力向上のために学習支援教室を開催し、進学のチャレンジを後押しするため、受験料等費用の一部が補助されます。

**問** 対象者と補助内容は。

**答** 子どもの学習・生活支援事業に登録している子どもが対象となる。



夢に向かって

大学等や高校を受験する年度に受けた模擬試験の受験料は高校3年生等は8千円、中学3年生は6千円を上限として補助する。

別訪問時等に申請書類の配布を考えている。申請書に領収書や試験結果等の写しを添付し提出することになっているが、柔軟に対応し申請が滞ることがないよう支援する。

**問** 申請手続きは。対象者への戸

文化

駐車場の確保で  
文化施設の利便性向上

文化施設整備事業

大井総合支所南側にある仮設駐車場の賃貸借契約が9月末で終了するため、新たな駐車場が整備されます。

**問** ステラ・ウェスト駐車場等整備工事と駐車場用地取得費が予算化された。内容は。

**答** 市民憩の森の土地所有者から、市に対して土地の使用貸借の相談があった。駐車場を確保するため、土地の一部を購入する予算を計上した。

**問** 購入面積と整備され



新たな駐車場は旧大井図書館向かい側

**問** 駐車場の台数は。

**答** 市民憩の森の一部約2200㎡の土地を購入する。また、隣接する市所有の土地に通路等を整備するため、約1200㎡の土地を購入する予定である。駐車場の台数は145台程度となる見込みである。

福祉

高齢者の安心と  
活動の拠点

大井総合福祉センター管理事業

誰もが使いやすい、高齢者や障がい者の健康増進を図るための配置変更が行われます。また、高齢者向けeスポーツのイベントが開催され、今後も楽しめる機器が導入されます。

**問** 配置変更の内容は。

**答** 現在は関越自動車道西側にある地域包括支援センター1つるが、3階に移転し、障がい者総合相談支援センターとの円滑な連携が期待できる。老人福祉センターには新たに卓球スペースを整備する。eスポーツ専用室なども設置し、事業の展開をしていきたい。

**問** ツ事業の内容は。

**答** 上半期中に複数のeスポーツを体験できるイベントを開催して効果検証等を行った上で、秋頃にはeスポーツ機器を導入して事業を展開していきたい。



ステラ・ウェストの北側にある

教育

学校プール事業の  
民間委託を全校へ

教育支援事業

プールの老朽化や児童・生徒を熱中症から守るため、令和5年度に始まった水泳授業の民間委託が、令和6年度から全小・中学校に拡大されます。

**問** 民間委託を継続する理由は。

**答** 令和5年度に9校で実施した。民間プールは衛生的で、水も冷たくなく、子どもたちも喜んでいる。

**問** 年4回の授業で泳力が伸びたという声もあり、引き続き民間委託を継続する。

**問** 民間プールへの移動

**問** 手段は。

**答** 3校は徒歩で、それ以外の学校は大型バス、マイクロバス等を借り上げて移動することになる。

**問** 技術指導は誰が行うのか。

**答** 児童・生徒への指導は教師が行う。教師はインストラクターから指導法を教わる。



産業

補助金で新たな  
創業を促進

商工業振興事業

創業を後押しし、安定した経営を支援するため、創業支援事業ステップアップ補助金が創設されます。

**問** 補助金の概要は。

**答** 新たに事業を開始する人に、1年目30万円、2年目10万円、3年目10万円を補助する。また、創業後5年以内の人も同様の支援をする。この補助金は、既存の補助事業、空き店舗対策との併用も可能と考える。

**問** どのような経費が補助対象か。

**答** 登記費用、改装工事、ホームページの開設費、キャッシュレの導入費などを想定している。

**問** 対象件数は。年間10件程度を想定している。



商工会でも創業セミナーを開催

**問** 条件は。

**答** 市内に店舗または事業所があり、創業支援事業の認定を受けているなどの要件がある。

福祉

民生委員・児童委員  
をサポート

民生委員・児童委員事務

民生委員・児童委員の活動の負担軽減を図り、新たな担い手を育成するため、民生委員活動の補佐・補助を行う制度が導入されます。

**問** 制度の内容は。

**答** 協力員を必要とする民生委員・児童委員が協力員になつてもらう人を一人候補者として選び、地区民生委員・児童委員協議会の会長が適格性を判断した上で、市長が協力員として委嘱を行う。協力員は見守り活動の補助や、簡易な訪問、地域福祉のイベント等の参加や周知・啓発活動等の協力を行うボランティアとして活動する。活動費として月額1500円を支給する。

**問** 活動の負担軽減に加え、状況により複数人で訪問できる安心感、新たな地域福祉の担い手となる人材の育成も期待できる。



一緒にサポート